

貴重な三大忍術書の一つを紹介！

本の万華鏡「NINJA 虚像と実像」公開

どなたでもご覧いただける、国立国会図書館のオンライン展示です。

国立国会図書館は令和5年4月18日に、ミニ電子展示「本の万華鏡」第33回「NINJA 虚像と実像」を公開しました。

漫画や小説、映画など数々のエンターテインメント作品の中で活躍し、海外からも関心を集めている「忍者」をテーマとするオンライン展示です。

サイトでは、児雷也（じらいや）や猿飛佐助、石川五右衛門をはじめ、江戸時代以降のエンターテインメント作品に登場する忍者と、歴史の裏で暗躍した実在の忍者に分けて、その両面から謎多き忍者の姿にせまります。

「黒装束」や「手裏剣」などのキーワードで、創作と本物の忍者の違いを詳しく解説するほか、三大忍術書の一つであり、国立国会図書館が江戸時代の貴重な写本を所蔵する『正忍記』も紹介しています。



URL: <https://www.ndl.go.jp/kaleido/entry/33/>

スマートフォンからでもご覧になれます。



■ 報道機関の方のお問い合わせ先

国立国会図書館 総務部 総務課 広報係 03-3506-5103 (直通)

■ご覧いただける資料の一部（サイト上でより詳細な画像をご覧いただけます。）

漫画や映画にも登場する人気者「児雷也」



『児雷也豪傑譚』はガマを操る妖術を使う児雷也と、ナメクジを操る妖術を使う綱手が、大蛇から生まれた大蛇丸と戦う幕末のベストセラーで、歌舞伎や映画になったほか、漫画『NARUTO』等にも影響を与えています。

出典：楊洲周延『児雷也譚』，木村定五郎，明治13【寄別7-3-1-6】

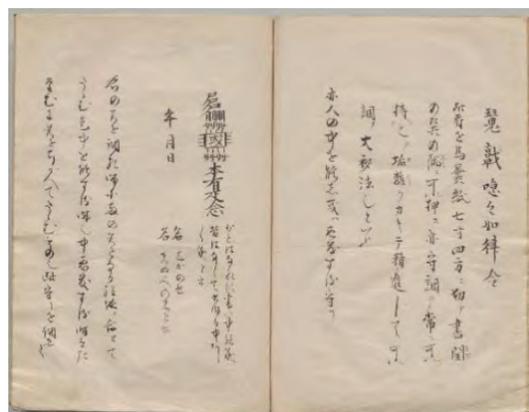
実際の忍者は黒装束ではない？



忍者といえば黒装束のイメージですが、これは歌舞伎や浄瑠璃など演劇から広がった設定で、実際の忍者は黒装束ではなかったと考えられます。

出典：永島辰五郎 編『[絵本]』(6)本朝廿四孝 上，小森宗次郎，明治12-15【特42-820】

江戸時代に記された三大忍術書の一つ『正忍記』



『正忍記』には忍者の技術や心構えなどが説かれているほか、忍者の使う呪符なども紹介されています。画像では人間関係の改善や悪化に効果があるとされる呪符が紹介されています。

出典：名取正武『正忍記 3巻』渡辺六郎左衛門写，寛保3【214-9】



本の万華鏡

「化粧」「鉄道」「はやり病」「和菓子」「温泉」など、33のテーマで、国立国会図書館の蔵書を紹介しています。

URL: <https://www.ndl.go.jp/kaleido/>

■ 報道機関の方のお問い合わせ先

国立国会図書館 総務部 総務課 広報係 03-3506-5103 (直通)